

令和 3 年度事業報告

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

岳南法人会は平成 25 年 4 月 1 日より一般社団法人としてスタートいたしました。事業展開にあたっては、当初定めた「公益目的支出計画」に則り、公益法人制度改革の原点である「税」に軸足を置き、会員以外にも対象を広げ「納税意識の向上」「税制への建設的提言」「自己研鑽機会の提供」「地域社会への貢献」などの活動を展開いたしました。

1. 組織の充実・強化

- (1) 本年も会員増強については、9 月から 12 月までの会員増強期間中に本会、支部、部会が一体となって取り組み、支部役員一人一社の新会員獲得を目標に掲げ 134 社の獲得目標及び対前年 12 月末比純増 1 社の目標設定をいたしました。

結果は令和 4 年 3 月末までに 97 社（前年度 82 社）と前年を上回る獲得となりました。コロナ禍の中厳しい経済環境により解散・休業・退会等による脱会は 86 社（前年度 143 社）ありましたが、3 月末会員数は 3,898 社（前年度 3,887 社）と前年を上回り、各支部、関係金融機関、保険会社の努力と協力に感謝いたします。

- (2) 青年部会、女性部会は役員及び委員会を基軸に本会との連携を密にして、租税教室を実施し子供たちに税の大切さを学んでもらいました。

令和 3 年度においても新型コロナウイルス感染症拡大により、「チャリティーコンサート」「夏休み親子税金教室」「スポーツ交流会」の開催は中止となりましたが、「税に関する絵はがきコンクール」「税務研修会」等に参加し、会員相互の啓発、意識の向上が図られました。

- (3) 組織の充実・強化を図る「想いをつないで 50 年会員企業を守りたい」キャンペーンはコロナ禍のため、思うような活動ができませんでした。

2. 地域社会貢献活動の推進

地域社会貢献活動の一環として開催を予定していた「夏休み親子税金教室と感動映画の集い」、また、毎年恒例の岳南法人会チャリティーコンサートは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から本年も中止といたしました。

富士市・富士宮市の社会福祉協議会及び(公社)気仙沼法人会への寄付は例年同様実施いたしました。

3. 研修活動の充実強化

新型コロナウイルス感染症対策に万全を期し、参加人員の制限・ソーシャルディスタンス等に留意し、「経営セミナー」「税制改正説明会」「新設法人説明会」「年末調整説明会」等を実施しました。

青年部会において「税務研修会」を開催しました。

4. 税制改正への対応

税制委員会を中心に「令和4年度税制改正要望事項」を取り纏め、日本経済の活性化を目指し、社会保障と税の一体改革の推進、法人税の引き下げ、行財政改革の推進等を課題として全法連を通じ関係方面に強く要望すると共に、富士市長、富士宮市長、富士市議会議長、富士宮市議会議長、衆議院議員吉川赳氏に陳情を行いました。

5. 租税教育活動

青年部会を中心に、次世代を担う子供達に税の大切さを認識してもらう為に出前の「租税教室」を令和3年11月19日に富士宮市立人穴小学校6年生1クラス、令和3年12月17日に富士市立伝法小学校6年生3クラスにて開催いたしました。

女性部会においては、「税に関する絵はがき」作品を募集し1,070点の応募があり、最優秀作品賞、富士税務署署長賞、富士財務事務所所長賞、富士市長賞、富士宮市長賞、部会長賞、入選作品が選ばれ確定申告会場・金融機関ロビーで展示しました。

6. 広報活動の充実

会員以外も視野に入れた効果的な「税の啓発」に役立つ広報活動を展開し、会報誌「がくなん」も第167号・168号を発刊することができました。

また、インターネットセミナー・オンデマンド、e-Taxの普及をアピールし、ホームページからの会員・一般に向けた広報活動の場としました。

7. 福利厚生制度の推進

新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、協力保険会社3社も活動が制限され、岳南法人会も同様に思うような活動ができませんでした。